

令和7年度使用小学校用教科用図書 揖斐川町 採択結果一覧

種 目	発 行 者		書 名	検定済年
	番 号	略 称		
国 語	38	光 村	国語	令和4年
書 写	38	光 村	書写	令和4年
社 会	2	東 書	新編 新しい社会	令和4年
地 図	46	帝 国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳	令和4年
算 数	4	大日本	新版 たのしい算数	令和4年
理 科	2	東 書	新編 新しい理科	令和4年
生 活	61	啓林館	せいかつ	令和4年
音 楽	27	教 芸	小学生の音楽	令和4年
図画工作	116	日 文	図画工作	令和4年
家 庭	2	東 書	新編 新しい家庭	令和4年
保 健	2	東 書	新編 新しい保健	令和4年
英 語	2	東 書	NEW HORIZON Elementary English Course	令和4年
道 徳	38	光 村	道徳 きみがいちばんひかるとき	令和4年

令和7年度使用中学校用教科用図書 揖斐川町 採択結果一覧

種 目	発 行 者		書 名	検定済年
	番 号	略 称		
国 語	3 8	光 村	国語	令和5年
書 写	2	東 書	新編 新しい書写	令和5年
社 会 (地理的分野)	2	東 書	新編 新しい社会 地理	令和5年
社 会 (歴史的分野)	2	東 書	新編 新しい社会 歴史	令和5年
社 会 (公民的分野)	2	東 書	新編 新しい社会 公民	令和5年
地 図	4 6	帝 国	中学校社会科地図	令和5年
数 学	2	東 書	新編 新しい数学	令和5年
理 科	2	東 書	新編 新しい科学	令和5年
音 楽 (一 般)	2 7	教 芸	中学生の音楽	令和5年
音 楽 (器楽合奏)	2 7	教 芸	中学生の器楽	令和5年
美 術	1 1 6	日 文	美術	令和5年
保健体育	2	東 書	新編 新しい保健体育	令和5年
技術・家庭 (技術分野)	2	東 書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	令和5年
技術・家庭 (家庭分野)	2	東 書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	令和5年
英 語	2	東 書	NEW HORIZON English Course	令和5年
道 徳	2	東 書	新編 新しい道徳	令和5年

揖斐川町 採択の理由書

種目	発行者	理 由
国 語	光 村	書名<国語>
		<p>全体として資質・能力の三つの柱について、バランスよくまとめられている。特に冒頭の「学習の見通しをもとう」では、教材ごとに他教科やSDGsとの関わりが示されており、単元と結び付けられている点が工夫されている。</p> <p>西濃地区の国語科では「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」が求められている。本教科用図書では、言葉を豊かにするための「言の葉ポケット」「語彙ブック」といった言語への興味・関心や自覚を高めるための支援が充実している。</p>
書 写	東 書	書名<新編 新しい書写>
		<p>生徒が主体的に学習に取り組むために、「書写のかぎ」により整えて書くためのポイントが位置付けられている。また、生活の場でどのように活用できるかを考えさせることで、自分の文字をよりよくしていこうとする態度を育成するよう工夫されている。</p> <p>西濃地区の国語科では、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」が求められている。本教科用図書では、学んだことを生活の中で活用するため、具体的な場面を想定した教科横断的な教材が多く設定され、話し合う必然性が生まれ、互いの考えを広げたり深めたりできるよう工夫されている。</p>
社会 (地理的分野)	東 書	書名<新編 新しい社会 地理>
		<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成することを目指し、単元を貫く探究課題を設定し、段階を踏んで課題解決ができるように構成されている。</p> <p>西濃地区の社会科では、「授業者の意図で資料を提示する指導から、課題解決に向けて生徒が自ら求めて資料やICTを活用する指導」が求められている。本教科用図書では、印象的な写真や比較できる統計資料が多く示されており、生徒の気付きや疑問を基に課題を設定し主体的に課題解決ができるよう、よく配慮されている。</p>
社会 (歴史的分野)	東 書	書名<新編 新しい社会 歴史>
		<p>歴史的な見方・考え方を働かせながら、歴史の流れや特色を多面的・多角的に捉えるための工夫がされている。小集団での話し合い活動を位置付けることで対話的な学びを促し、多様な意見を整理し、多面的・多角的な考察によって議論する力を養うための配慮がよくされている。</p> <p>西濃地区の社会科では、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」が求められている。本教科書用図書では、「個別の学び」の成果を「集団での学び」に生かし、更にその成果を「個別の学び」に還元する学びの具体が示されており、よく工夫されている。</p>

社会 (公民的分野)	東書	書名<新編 新しい社会 公民>
		<p>「主体的・対話的で深い学びの視点」から学習活動が行えるように、章の始めに導入の活動を設け、節の問いや章全体の探究課題を設定し、節の問いを段階的に解決しながら、章末のページで探究課題を解決していくといった課題解決的に学習活動を進める展開が示されている。</p> <p>西濃地区の社会科では、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」が求められている。本教科用図書では、生徒の興味・関心に応じて学びを広げ深めたり、対話的活動を通して他者と協働的に学んだりするためのコラムやコーナーが豊富に示されている。</p>
地図	帝国	書名<中学校社会科地図>
		<p>生徒が興味・関心を持って教科学習に取り組めるように、多様かつ豊富な資料を掲載している。また、生徒が主体的・対話的に学習することができるよう「地図で発見!」のコーナーを設け、様々なレベルの問いを解決する中で思考力を高める工夫がされている。</p> <p>西濃地区の社会科では、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」が求められている。本教科用図書では、一つ一つの情報を見やすく提示し、なおかつ生徒の興味・関心を高めて、課題解決に向けて個別から仲間との学習への流れの中で充実した学びができるように配慮されている。</p>
数学	東書	書名<新編 新しい数学>
		<p>ストーリー性のある題材構成で、導入の題材を本文の中で解決することができる。また、吹き出しに「同じように考えると(統合的な考え)」「それなら(発展的な考え)」といった文言をつけ、学びのつながりを生徒が自覚できるようになっている。</p> <p>西濃地区の数学科では、「生徒の主体的な学びと自己調整しながら粘り強く取り組むことを目指した指導」が求められている。本教科用図書は、複数の図や絵を使って、課題解決の手がかりとなる多様な考えを示し、生徒自身で課題解決ができるように工夫されている。また、教師も生徒の思考の流れを理解して指導ができるようになっている。</p>
理科	東書	書名<新編 新しい科学>
		<p>探究の過程を常に生徒も教師も意識して学習することができるよう、アイコンで視覚化して提示し、生徒が主体的に学ぶための工夫がなされている。</p> <p>西濃地区の理科では、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実として、一人一人の仮説を大切にしたい、目的に応じた複数の観察・実験が行われる授業」を行うことが求められている。本教科用図書では、探究の過程で、「構想」したり、「検討改善」したりする場面において考えの異なる生徒の会話例を示すことで、生徒に思考を促すように工夫されている。</p>

音楽 (一般)	教 芸	書名<中学生の音楽>
		<p>全題材を通して、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成できるよう構成されている。「何を学ぶか」を明示し、生徒が「音楽を形づくっている要素」を意識しながら、主体的に学習を進めることができる配慮がなされている。</p> <p>西濃地区の音楽科では、「音楽を形づくっている要素を精選し、ねらいを明確にした授業改善」が求められている。本教科用図書では、各学年の学習内容「学びの地図」を活用することで、題材と題材のつながりを見通すことができるよう工夫されている。</p>
音楽 (器楽)	教 芸	書名<中学生の器楽>
		<p>義務教育 9 年間を見通した年間指導計画が確立しており、学習指導要領に示された三つの資質・能力がバランスよく構成されている。また、つけたい力が見開きに納められ、視覚的に理解できるよう工夫がなされている。</p> <p>西濃地区の音楽科では、「音を介して自分の願いを表現し、音を介した意見交流による学びの充実」が求められている。本教科用図書では、「学びのコンパス」が設定され、生徒が音を介した主体的な学習を展開しやすい工夫がされている。また、ICTを活用して主体的に学ぶためのデジタルコンテンツが豊富に用意されている。</p>
美術	日 文	書名<美術>
		<p>全題材を通して、資質・能力の三つの柱に対応した学習目標が具体的に示されるとともに、各学年ともバランスよく題材の配列がされ、系統性が工夫されている。また、題材のまとめとして生活や社会との関連が明確に示されている。</p> <p>西濃地区の美術科では、「一人一人の関心や能力に応じて、主題や課題を自ら選択すること」が求められている。本教科用図書では、「造形的な視点」や「表現のヒント」が充実しており、主体的に、継続的な学習に取り組める構成となっている。</p>
保健 体育	東 書	書名<新編 新しい保健体育>
		<p>全単元を通して、導入発問 - 学習課題 - 本文(説明) - 習得内容の活用 - 自己生活の見直しのサイクルで学習を進められる構成になっている。また、二次元コードが位置付けられ、知識の定着が図られるよう工夫されている。</p> <p>西濃地区の保健体育科では、「健康を適切に管理し改善していく思考力・判断力・表現力等の資質・能力を育成すること」が求められている。本教科用図書では、「調べ学習」「話し合い」「資料からの読み取り」「活用する」の位置付けにより、取得した内容を実生活に生かしていこうとする態度を養うことができるよう、よく配慮されている。</p>

技術・家庭 (技術分野)	東書	書名<新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology>
		<p>全題材を通して、問題発見のきっかけとなるテーマを掲げ、問題解決のプロセスに沿って紙面が構成されている。また、動画やデジタルコンテンツが豊富に準備され、ICTを活用して主体的に学べるよう工夫されている。</p> <p>西濃地区の技術・家庭科（技術分野）では、「見方・考え方に気づいたり、働かせたりする授業」が求められている。本教科用図書では、生徒が「最適化の窓」を活用して「見方・考え方」に着目できるよう工夫されている。また、全題材を通して、レーダーチャートを用いて評価できるようになっており、よく配慮されている。</p>
技術・家庭 (家庭分野)	東書	書名<新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して>
		<p>生活の中から問題を見出し、課題を設定して解決していく学習過程を設定し、自分の成長を実感でき、さらに生活をよりよくするための実践に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>西濃地区の技術・家庭科（家庭分野）では、「家庭分野の見方・考え方に気付かせたり、働かせたりする授業」が求められている。本教科用図書では、「生活の営みに係る見方・考え方」を分かりやすく例示し、生徒が自らの問題発見につなげる工夫があり、その実現に適したものとなっている。</p>
英語	東書	書名<NEW HORIZON English Course>
		<p>学年の発達段階に応じて、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成できるように内容が構成されている。単元終末の言語活動に向けて、Partや Read and Think を通して、スモールステップで表現を獲得していけるように単元が構成されており、「重ね塗り」の学習スタイルは、英語学習に適している。</p> <p>西濃地区の英語科では、「聞いたり読んだりしたことについて概要を理解すること」や「理解したことについて話したり書いたりすること」が求められている。本教科用図書では、目的・場面・状況等が明確に設定された言語活動が豊富に用意されており、よく配慮されている。</p>
道徳	東書	書名<新編 新しい道徳>
		<p>各学年で学ぶ内容項目に軽重をつけつつ、3年間で系統的に学べる配置になっている。いじめの問題について、各学年3教材ずつをユニットにまとめ、「いじめのない世界へ」と記載し、重点として強調している。いじめの問題についてより深く考えられるように、イラスト資料や読み物資料、体験活動の位置付けなどが工夫されている。</p> <p>西濃地区の道徳科では、「個で考え仲間と議論する授業の充実」が求められている。本教科用図書では、全ての教材に三つの基本的な発問が設定されており、自我関与を促し生徒が主体的に学べる工夫がなされている。</p>

第4回 揖斐川町教育委員会定例会

揖斐川町教科用図書採択に係る議事録（議事要旨）

1 日時：令和6年7月26日（金）8時50分～9時55分

2 場所：揖斐川町役場 3階 第5会議室

3 出席者 教育長 香田 静夫
教育委員 教育長職務代理 折戸 克明
教育委員 小林 直樹、太宰 不二夫、松井 乃里子
教育部局 部長 高木 英樹
学校教育課 課長 富山 哲成
社会教育課 課長 松久 秀紀
学校教育課 課長補佐 窪田 清文

4. 議事

議第5号 令和7年度使用小学校用教科用図書及び中学校用教科用図書の採択議決について

○教育長より説明

- ・令和7年度使用中学校の教科用図書は、採択替えが可能な年度にあたる。西濃地区採択協議会が複数の調査項目と着眼点を踏まえ、行った調査研究内容に基づいて、採択原案が取りまとめられた。
- ・このことを受けて、本日の定例会では、公正確保の観点から慎重な審議を行い、揖斐川町教育委員会として採択する教科書を決議する。
- ・「令和7年度使用中学校用教科用図書西濃地区採択原案」については、別紙のとおり。これらのうち、現在、中学校において使用している教科書と発行者が異なる教科・種目は、数学 東京書籍「新編 新しい数学」（現行：大日本図書「数学の世界」）、理科 東京書籍「新編 新しい科学」（現行：啓林館「未来へ広がるサイエンス」）の2教科・2種目である。

<種目ごとの説明>

- ・「国語」
光村図書の「国語」を採択。話す・聞く、書く、読むの学習がバランスよく設定され、学習の流れや学び方が生徒によく分かるよう工夫されており、学んだ語彙を活用できるようにすることへの支援が適切にされていることなどに優位性が認められた。
- ・種目「書写」
東京書籍の「新編 新しい書写」を採択。生活の場面で、書写がどのように活用できるかを考えさせることで、自分の文字をよりよくしていこうとする態度を育成するよう工夫されているうえに、対話的な話し合いを学習に取り入れる工夫がされていることなどに優位性が認められた。

- ・教科「社会」種目「地理的分野」

東京書籍の「新編 新しい社会 地理」を採択。各時間の課題解決の道筋が分かりやすく示され、単元を通して探究する課題が設定されるなど、単元を通して課題解決できるよう工夫されていることなどに優位性が認められた。
- ・教科「社会」種目「歴史的分野」

東京書籍の「新編 新しい社会 歴史」を採択。小集団での意見交流を通じた多面的・多角的な考察、対話的な活動を促す工夫や、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に進めていくための工夫がよくされていることなどに優位性が認められた。
- ・教科「社会」種目「公民的分野」

東京書籍の「新編 新しい社会 公民」を採択。探究の流れに即して学習が進められるよう工夫されていること、生徒の興味・関心に応じて学習が広がることともに、知識・技能の習得にも配慮されていることなどに優位性が認められた。
- ・教科「社会」種目「地図」

帝国書院の「中学校社会科地図」を採択。歴史、公民、SDGs など、関わりがある分野とのつながりが分かりやすくなる工夫や、生徒一人でも、仲間との対話を通して学習できるよう配慮されていることなどに優位性が認められた。
- ・種目「数学」

東京書籍の「新編 新しい数学」を採択。多様な解決が考えられる問題を、主体的・協働的に解決することで学びを深めることができるよう構成が工夫され、言語活動が適切に配置されていることなどに優位性が認められた。なお、競合した啓林館の教科書にも生徒が主体的に学習に向かうことができるなどの特徴があったが、西濃地区の指導の方針に関する観点において優れているという理由で東京書籍の教科書を採択。
- ・種目「理科」

東京書籍の「新編 新しい科学」を採択。学習活動を通じてどのような資質・能力が身に付くかを生徒も教師も理解しやすいようにし、学力をバランスよく育成する工夫がされていること、様々な効果的なデジタルコンテンツが工夫されていることなどに優位性が認められた。なお、競合した啓林館にも協働的な学びが実現するよう工夫されているなどの特徴があったが、学習指導要領に関する観点や西濃地区の指導の方針に関する観点において優れているという理由で東京書籍の教科書を採択。
- ・種目「音楽・一般」

教育芸術社の「中学生の音楽」を採択。生徒が学びを振り返ることができるよう、教材ごとに取り扱う音楽を形づくっている要素が示され、教員の指導改善にもつながるよう配慮されていることなどに優位性が認められた。
- ・種目「音楽・器楽合奏」

教育芸術社の「中学生の器楽」を採択。生徒たちが学びを深めていくことができるよう配慮されていること、音楽が苦手な生徒にも取り組みやすい楽曲の配列となっていること、などに優位性が認められた。
- ・種目「美術」

日本文教出版の「美術」を採択。表現と鑑賞二つの分野の題材をバランスよく掲載していること、対話を通して思考力を働かせ、学びを深めることができるよう、実際に仲間と伝え合う活動の様子を紹介していることなどに優位性が認められた。

- ・種目「保健体育」
東京書籍の「新編 新しい保健体育」を採択。授業で学ぶ内容が、観点ごとに要点をまとめて整理されており、生徒が理解しやすいこと、仲間との対話を通して学びを深めることができるよう工夫されていることなどに優位性が認められた。
- ・種目「技術・家庭（技術分野）」
東京書籍の「新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology」を採択。生徒一人一人が様々な視点から学習に取り組めるよう工夫されていること、高等学校につながる内容が掲載されていることなどに優位性が認められた。
- ・種目「技術・家庭（家庭分野）」
東京書籍の「新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」を採択。主体的・対話的で深い学びにつながる学習が位置付いており、学習目標を達成することができるよう内容が構成されていること、生徒が自分の生活を見つめて改善を進めることができるよう工夫されていることなどに優位性が認められた。
- ・種目「英語」
東京書籍「NEW HORIZON English Course」を採択。学年の発達の段階に即して、4技能5領域がバランスよく配置されており、定着を図るよう工夫されていること、協働的な学びが充実するよう工夫されていることなどに優位性が認められた。
- ・種目「道徳」
東京書籍の「新編 新しい道徳」を採択。生徒が自らの考えをもって主体的に話し合えることができるよう工夫されていること、「いじめの問題」について、各学年3教材をユニット形式にまとめ、多面的・多角的に考えられるよう配慮されていることなどに優位性が認められた。

○協議

<委員>

- ・入念な調査研究による多くの資料を基に、非常に要領よく説明していただいた。
少子化等の影響により、教科書会社の数もひと昔前からかなり減った。少ない発行者の中では、研究力のある発行者がどうしても強くなる。今回西濃地区においても、東京書籍が発行している13種目のうち11種目が採択される案となっており、真摯に調査研究をすればするほどそのような結果になっていくのは道理である。

<委員>

- ・数学が採択替えとなる案であったが、発行者によって単元の配列が違うことで、学び落としが起きないか留意する必要がある。もちろん間違いなく配慮はされると思うが、数学では発展的内容等で発行者によって異なる場合があるし、理科も高校の学習につながる内容などで同様の状況が心配される。

<教育長>

- ・今のことは、西濃地区採択協議会では理科で話題になった。理科は、現行の啓林館と、来年度採択案の東京書籍では単元配列が違うため、指導者が年間指導計画を作成し直す必要があり、そこについては現場の努力が求められるとのことである。
- ・高校との接続で言えば、算数・数学におけるプログラミング学習の内容、系統性について、どの発行者も位置付けられているが、その中でやはり東京書籍が優れていると

いう見解であった。

- ・具体的に、東京書籍2年生数学の23ページ「文字式の利用」を見ていただくと、「調べてみよう」「シミュレーション」「〇〇さんの考え」…と、自分学びの場においても仲間との学びがイメージされている。また、25ページには別の生徒の考えも例示されていて、多様な考え方に触れられるような工夫がされている。

<委員>

- ・理科、社会の教科書を見た時に、非常に文字が細かいという印象を受けた。

<教育長>

- ・それも話題に上がった。理科は、今回東京書籍の教科書が選ばれているが、啓林館のものより文字量が抑えられている。

<委員>

- ・啓林館の数学、理科の教科書を見ると、「社会でどのように活用できるか」という応用の面で充実している。例えば、研究者の育成など、より高度で専門的なところを求めていきたい生徒には適しているかもしれないと感じた。学んでいることが社会にどう結び付くのか、数学は特にそれが分かりにくい、そうした点で興味深い内容だった。ただし義務教育という観点から言えば、どの子にもわかりやすく、見やすい内容であることが重要になることが理解できる。

<教育長>

- ・調査研究員の説明でも、啓林館の理科は説明が非常に丁寧であるということがあった。情報量も多く、理科が好きな生徒、得意な生徒にとっては適しているかもしれないとのことだったが、委員の意見でも、義務教育において使用するということを踏まえ、多くの生徒にとっての分かりやすさが重視された。

<委員>

- ・発達障がいのある生徒への配慮を考えたとき、多すぎる情報量や細かすぎる文字は、障壁になることもある。そう考えると、どの生徒にも分かりやすく、見やすくという観点がやはり重視される。

<委員>

- ・自分が使っていたころの教科書と違い、全体的に非常に明るい配色で、図面なども細かくきれいになっている。このような教科書なら勉強するのも楽しくなるだろうと思う。
- ・低年齢からの視力低下も非常に増えてきているが、そうした生徒たちへも配慮した見やすさ、見開きの分かりやすさがあってよい。
- ・調査員による調査研究も丁寧に、詳細に行われており、今日的な教育課題をきちんと踏まえ、明確な観点で評価されていて大変よく理解できる。

<教育長>

- ・国語の教科書を見ていただきたい。地の紙面が真っ白ではなく、クリーム色の装丁になっている。これも目に配慮した装丁の一つということである。
- ・また、光村図書2年生「走れメロス」220ページでは、「学びへの扉」として、この単元でどのように学びが進められていくのか俯瞰できるように示してある。こうした学びの道筋を学習者のみならず教師も共有していくことが、今日的な国語教育で求められている側面でもある。

- ・同じく267ページ「語彙ブック」も高く評価された。使用した語彙を、今後も使える語彙にしていこうとする仕掛けである。

<委員>

- ・QRコードはどの教科書にもあり、タブレットから開けるのか。

<教育長>

- ・どの教科書にもある。その数や充実度は、発行者によって違いがある。

<委員>

- ・いずれ紙の教科書はなくなっていくかもしれないとも感じる。すべてデジタルにしてタブレット一つになれば、生徒の持ち運びの負担も随分軽くなる。

<委員>

- ・ある調査によれば、「紙の教科書の方が勉強しやすい」と答える児童生徒の方が多いということであった。紙からの情報の方が頭に入ってくるという声もある。紙媒体、デジタル媒体それぞれに良さがあるのではないかと思う。

<教育長>

- ・道徳の教科書を見ていただきたい。2年生「いじめのない世界」では、イラスト、漫画、読み物と、さまざまな表現方法で三つの資料が提示してあり、ユニットとしていじめ問題を扱うことが、工夫点の一つとして高く評価された。

<委員>

- ・道徳としては、教科書を用いた学習ももちろんだが、実体験に基づいた学びが道徳心を育てていくことにもなる。座学と実体験の学びの両者を大切にしていただけるとよい。

※ 協議の結果、採択原案のとおり決定した。